



平成 24 年 10 月 30 日

各 位

会社名 **フタバ産業株式会社**
代表者名 取締役社長 三島 康博
コード番号 7241 東証・名証第1部
お問合せ先 専務取締役 佐々木 康夫
TEL (0564) 31-2211

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間における業績予想値と決算値との差異 および通期業績予想の修正ならびに特別損失計上に関するお知らせ

平成 24 年 4 月 26 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)の業績予想値と本日公表の決算において差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 3 月期の通期の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社が保有する「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想値と決算値との差異

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間 連結業績予想数値と実績との差異

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 186,700	百万円 1,400	百万円 800	百万円 △600	△8円58銭
実績値(B)	189,705	500	△572	△1,745	△24円95銭
増減額(B-A)	3,005	△900	△1,372	△1,145	—
増減率(%)	1.6%	△64.3%	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	162,749	△468	△1,961	△3,251	△46円48銭

2. 業績予想の修正

平成 25 年 3 月期 通期 連結業績予想数値の修正

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 375,400	百万円 2,900	百万円 1,800	百万円 △1,000	△14円29銭
今回修正予想(B)	356,800	100	△1,500	△3,300	△47円17銭
増減額(B-A)	△18,600	△2,800	△3,300	△2,300	—
増減率(%)	△5.0%	△96.6%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	372,083	2,630	335	△4,521	△64円63銭

3. 業績予想修正の理由

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績につきましては、日本では自動車生産台数が想定を上回り、原価低減活動も計画を上回る水準で推移いたしました。北米では売上高が想定を上回ったものの、原価改善が目標額に届かず、収益が計画を下回りました。欧州・アジアにおいては売上高が大きく想定を下回ったことなどから収益が計画を下回ることとなりました。

また、平成 25 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、第 2 四半期までの実績に加え、中国における自動車販売台数の減少による、売上高の落ち込みが想定されるため、前回予想を修正するものであります。

4. 特別損失の計上

当社が保有する「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

平成 25 年 3 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

平成 25 年 3 月期第 2 四半期会計期間(平成 24 年 7 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額(= A - B)	373 百万円
(A)平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額	373 百万円
(B)直前四半期(平成 25 年 3 月期第 1 四半期)累計期間(平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額	一百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は洗替え方式を採用しております。平成 25 年 3 月期の期末日の時価により特別損失の額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。

※ 当社の決算期末は、3 月 31 日です。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上